

ステークホルダーの皆さまとの対話をめざして

当社は、企業活動上のあらゆる働きがすべて社会と将来につながっているという自覚を強く持ち、事業を通じた社会課題の解決、社会的価値の創出により、自らの存在意義を追求していくことを宣言しています。

当社が実現したいと考えている社会に向けて挑戦している取り組みをお伝えするため、昨年度、初めての統合報告書を発行しました。多くのステークホルダーの皆さまにご覧いただき、当社のめざす姿を理解いただく材料となったことを大変有意義に受け止めています。

当社の経営陣はじめ従業員は、私たちの強みや私たちがめざす持続可能な社会の姿についてより深く考えました。また、統合報告書をお読みいただいた皆さまからの貴重なご意見を踏まえ、当社の価値創造プロセスをよりわかりやすくお伝えするために内容の充実を図り、統合報告書を発行いたします。

この統合報告書によって皆さまとの対話を重ね、いただくご意見を当社の事業活動に生かし、より豊かな社会づくりに貢献していきたいと考えています。

編集方針

対象期間

2023年1月～2023年12月
※一部対象期間外の情報も掲載

対象範囲

TOYO TIRE株式会社及び国内外のグループ会社（連結子会社）

本報告書における組織呼称

TOYO TIRE株式会社単体→
「TOYO TIRE株式会社」または「当社」
グループ全体→
「TOYO TIRE」または「当社グループ」

参照ガイドライン等

- 国際統合報告協議会（IIRC）
「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」
- Global Reporting Initiative
「GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード」

将来の見通しに関する記述について

本報告書には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性のあることにご留意ください。

CONTENTS

1 編集にあたって・目次

Introduction

- 3 私たちの理念
- 7 成長の軌跡
- 9 At a glance

Top Message

11 トップメッセージ



Vision

- 17 価値創造プロセス
- 19 TOYO TIREの強み
- 21 外部環境・リスクと機会
- 23 TOYO TIRE のマテリアリティ

Strategy

- 25 財務戦略
- 28 中期経営計画「中計'21」の進捗
- 28 技術・生産・販売戦略の進捗
- 29 重要経営指標の進捗
- 29 DXの進捗
- 30 タイヤ事業の進捗
- 33 自動車部品事業の進捗
- 34 財務ハイライト

Materiality

- 35 領域Ⅰ 価値創出
- 41 領域Ⅱ 価値創出を支える基盤
- 47 領域Ⅲ リスクマネジメント

Close-up

- 57 TNFD
- 58 人権

Governance

- 59 ガバナンス
- 64 会長メッセージ



- 65 社外取締役メッセージ
- 69 役員一覧

Data

- 71 財務一覧サマリー（11カ年）
- 73 連結貸借対照表
- 75 連結損益計算書／連結包括利益計算書
- 76 連結キャッシュ・フロー計算書
- 77 株式情報
- 78 会社情報

本報告書の位置付け

